

明治大学 米沢嘉博記念図書館

1階展示室

入場無料

内記稔夫

日本初のマンガ図書館

をつくった男

2012年  
10月5日(金)

2013年  
~ 1月27日(日)

月・金：14:00~20:00

土・日・祝：12:00~18:00

休館日：毎週火・水・木曜日(ただし祝日は開館)

年末年始(12月27日~1月4日)

主催：明治大学 現代マンガ図書館・米沢嘉博記念図書館

問い合わせ：米沢嘉博記念図書館

〒101-8301 東京都千代田区猿樂町 1-7-1

TEL：03-3296-4554

[http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/)

日本初のマンガ図書館は、内記稔夫によって1978年に設立された、私設の図書館でした。マンガ少年だった内記は、1955年、高校在学中に貸本屋「山吹文庫」を開店。貸本屋を運営する中から、マンガ専門の図書館や、マンガアーカイブの必要性を感じ、賛同する方たちの協力を得て施設を設立。30年以上もの長きにわたって運営しました。現在18万点もの膨大なコレクションを有しています。内記は2012年6月惜しまれつつこの世を去りましたが、彼の創ったマンガ図書館や、その精神は、後続の図書館機能をもつマンガ関連施設や、マンガを愛する人々に受け継がれています。本展では多くの貴重な資料をもとに、内記の業績やその交友関係、彼の創った「現代マンガ図書館」の成り立ちや概要などを紹介いたします。



館に贈られたサイン色紙

## ■ 主な展示

- ・マンガ少年内記稔夫（幼少時の作品、コレクション他）
- ・貸本時代～マンガ図書館設立（貸本屋の紹介、設立の経緯がわかる資料、他）
- ・現代マンガ図書館紹介（稀覯本、歴代閲覧作家トップ10、閲覧希望多数雑誌紹介、他）
- ・館へ贈られた貴重サイン色紙（手塚治虫、さいとう・たかを、ちばてつや、植田まさし他）
- ・資料保存のための様々な工夫（内記式「ビニールカバーのかけ方」他）
- ・他、内記稔夫出演の貴重映像上映

※2階閲覧室にて本展示関連資料をご覧になれます。



内記稔夫が模写して作った表紙

## ■ 関連トークイベント

### ① 米沢嘉博記念図書館

開館3周年記念イベント

「現代マンガ図書館から受け継がれたもの」

講師：吉村和真（京都精華大学教授）、森川嘉一郎（明治大学准教授）、表智之

（北九州市漫画ミュージアム専門研究員）

日時：10月14日（日）/16時～18時

会場：明治大学リパティタワー7階

1073教室

### ②「内記稔夫 人柄と貸本コレクションの意義」

講師：F・M ロッカー（マンガ研究家）

聞き手：秋田孝宏（マンガ文化研究家）

日時：12月15日（土）/16時～17時半

### ③「内記稔夫と貸本屋の世界」

講師：田中雅規（全国貸本組合連合会理事長）、大竹正春（貸本文化研究会世話人）

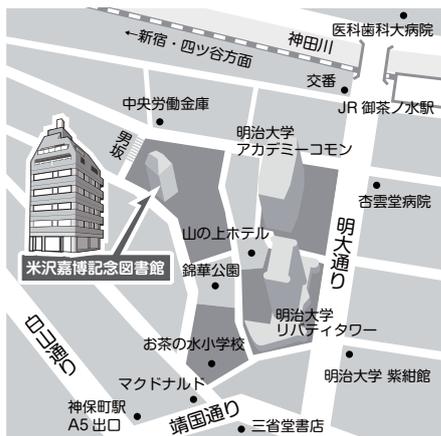
司会進行：宮本大人（明治大学准教授）

日時：2013年1月14日（祝・月）/16時～17時半

イベント②、③会場：

米沢嘉博記念図書館2階閲覧室

料金：無料 ※会員登録料金（1日会員300円～）が別途必要



本展会場地図



貸本屋時代の内記稔夫

# ないきとしお 内記稔夫と 現代マンガ図書館 のあゆみ



現代マンガ図書館  
設立者 内記稔夫

- 1937 内記稔夫、東京神田に生まれる
- 1955 新宿区山吹町に貸本屋「山吹文庫」を開店
- 1962 早稲田鶴巻町に移転
- 1966 結婚
- 1969 豊島区南長崎に貸本と新刊販売の「ナイキ書房」開店
- 1975 石子順造氏とマンガの保存に関する協議を開始
- 1976 大竹正春氏とともに貸本文化研究会発足
- 1978 「ナイキ漫画館」開店
- 同年 「現代マンガ図書館—内記コレクション—」開館
- 1995 全国貸本組合連合会理事就任
- 1997 「現代マンガ図書館の設立と運営に対して」第1回手塚治虫文化賞特別賞を受賞
- 同年 開館20周年
- 2001 日本マンガ学会理事就任
- 2007 開館30周年
- 2009 コレクションを明治大学に寄贈
- 2010 「明治大学 現代マンガ図書館」に館名を変更
- 2012 内記稔夫、肺炎のため永眠



山吹文庫



ナイキ漫画館



開館当初の外観

